

知多の精神をつなぐ、科学技術イノベーションの創出に挑戦し続けるグローバルサイエンスリーダーの育成

将来の予測が困難なこれからの時代において、自ら課題を見いだして探究的に取り組み、新たなイノベーションの創出や価値の創造に挑戦する精神（アントレプレナーシップ）をもって課題の解決に挑み続ける国際的な科学技術人材を育成

SSH第Ⅲ期において半田高校で育てたい「高い専門性」・「挑戦し続ける精神」・「国際性」

トップサイエンティスト育成プラン

自然科学や理数系に高い興味・関心を持つ生徒の早期発掘や、高度な理数教育を開発、発展させることで、科学リテラシーと未来社会を設計する力を持ち合わせたサイエンスリーダーを育成する。

- ・自然科学や理数系の興味・関心が高い生徒を対象とした「TS (Top Scientist) コース」の新設
- ・SSH自然科学部とSSH数学部は産官学と連携したハイレベルな研究活動を行い、探究活動を牽引
- ・「Jrサイエンスセミナー」を通して小、中学生の段階から科学に興味・関心の高い生徒を発掘

アントレプレナーシップ育成プラン

文理分け隔てないグループの探究活動を発展させ、知多地区を中心とした産官学との連携や、卒業生の利用を促進することで活動を深化させ、地域課題や学術課題の解決に向けて他者とコミュニケーションを取りながら挑戦する精神を育成する。

- ・産官学教育コンソーシアム「知多教育ネット」の構築と活用
- ・起業家等との交流会を通してアントレプレナーシップを育成する「チェンジメーカーセミナー」の新設
- ・卒業生の探究活動等への支援体制の構築

グローバルリーダー育成プラン

海外の高校生との対面交流をより効果的にするオンライン交流プログラムなど、サイエンスを通して国際性とリーダーシップを高める取り組みを実施することで、国際社会で活躍するグローバルリーダーを育成する。

- ・「Logical Presentation講座」を通じた英語による科学的なプレゼンテーション能力の育成
- ・海外連携校との研究交流等のオンライン交流の開発により、国内外の多くの高校生と交流
- ・課外活動であったSSH事業を教育課程に位置付けた「GIP(Global Innovation Program)」の実施

複雑化する世界・VUCAの時代・Society5.0の到来において、一人ひとりの多様な幸せ (well-being) の実現を目指すために…

- 多様な学問分野の知の統合と活用
- 従来の慣習や常識にとらわれない柔軟な思考や発想
- 国際社会の課題に協働的に挑戦する精神

地域に期待される半田高校の進化

- 併設型中高一貫校（令和7年度）として、新たな知の拠点としての役割
- 特徴的なカリキュラム開発による科学技術系人材の育成
- 自主自律の精神を基盤とした「文理分け隔てない探究活動」の深化による挑戦する人の育成

第Ⅱ期SSH (H30～R4)実施

挑戦する人<発見する人, 貢献する人, 開拓する人>を育てる半田Risk-Takers養成プロジェクト”HaRT-Project”

成果

- ・3年間の文理で分け隔てない「探究活動」の流れを体系化した教材の開発
- ・知多地区を中心とする「産官学」との連携基盤の構築
- ・地理オリンピック銀メダルをはじめとする科学コンテスト入賞の増加
- ・オンラインを活用した国際交流事業の開発

課題

- ・理数的才能の早期発見、育成には発展の余地がある
- ・探究活動のより一層の深化を促したい

第Ⅰ期SSH (H25～H29)実施

国際社会で活躍できる自然科学系グローバル人材の育成に関する研究

成果

- ・各教科横断的な内容、AIを取り入れた言語活動の充実、思考力・判断力・表現力の向上
- ・「SSH海外研修」の実施と海外校との連携協定
- ・「理科課題研究」を通じた科学技術的能力の育成

課題

- ・課題研究の対象を文型にも拡張し、全校体制で探究活動を行いたい
- ・「挑戦者」を育てるプログラムを体系化したい
- ・中学生のうちから科学的才能を発掘したい